

個人調書等の記入例・記入上の注意

※手書きで記入される場合は、楷書で分かりやすくご記入願います。

様式第4号

教員個人調書

(その1)

履 歴 書				
フリガナ	〇〇〇 〇〇〇	生年月日(年齢)	年 月 日生 (満〇〇歳)	
氏 名	〇 〇 〇 〇			
現住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇-〇〇 〇〇〇号室			
学 歴				
年 月	事 項			
昭和〇〇年 3月	〇〇大学 〇〇学部 卒業			
昭和〇〇年 4月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 修士課程 〇〇専攻 入学			
昭和〇〇年 3月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 修士課程 〇〇専攻 修了 修士(薬学)「〇〇〇の〇〇〇に関する研究」			
昭和〇〇年 4月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 博士課程 〇〇専攻 入学			
昭和〇〇年 3月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 博士課程 〇〇専攻 単位取得満期退学			
昭和〇〇年 6月	薬剤師免許取得(第11012号)			
職 歴				
年 月	事 項			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇学部 〇〇学科 専任講師 (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、 〇〇〇〇〇 担当)(昭和〇〇年〇〇月まで)			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇学部 〇〇学科 助教授 (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、 〇〇〇〇〇 担当)(平成〇〇年〇〇月まで)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇学部 〇〇学科 教授 (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、 〇〇〇〇〇 担当)(現在に至る)			
(前審査)	大学設置・学校法人審議会 教員組織審査判定結果			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇大学 〇学部 〇〇学科 専任講師 (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇担当)			
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学 大学院 〇〇研究科 〇〇専攻 教授 M合 (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、 〇〇〇〇〇担当)			
学会及び社会における活動等				
現在所属している学会	〇〇〇〇学会 〇〇〇〇学会			
年 月	事 項			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇〇〇学会 会員 (現在に至る)			
昭和〇〇年〇〇月	〇〇〇〇学会 会員 (昭和〇〇年〇〇月まで)			
賞 罰				
年 月	事 項			
	なし			
職 務 の 状 況				
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	担当授業科目の名称	備 考
〇 〇 大 学	〇 〇	〇〇〇学部	〇〇〇 I	前期
			〇〇〇 II	後期
			〇〇〇 B	
		大学院〇〇研究科	〇〇〇〇〇	
〇 〇 〇 大 学	兼任講師	〇〇〇〇学部	〇〇〇〇〇 I	
			〇〇〇〇〇 II	
上記のとおり相違ありません。				
令和 年 月 日				
氏名 〇 〇 〇 〇 印				

個人調書作成時現在の満年齢。

- ・大学若しくは高専又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴ならばこれらすべてについて記入。
- ・その他の者は、最終学歴について記入。
- ・学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目も併記すること。
- ・博士課程において所定の単位を取得し、博士の学位を授与されないうまま退学した場合には「博士課程単位取得満期退学」と記入。

- ・職歴のすべてを記入し、職名、地位等についても明記。
- ・過去の大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む)の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名及び担当授業科目名(大学院は判定結果(◎・合・可))を記入。
- ・在職期間が明確になるよう記入。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記。
- ・大学の教員歴については、主な担当科目を()で付記。
- ・無職、自営業、主婦、大学院進学準備等についても省略せず「職歴」欄に記入。
- ・担当科目に直接関係のある職歴についてはできるだけ具体的に記入。
(例 看護学科の教員で看護師経歴のある者の当該看護師時の勤務病院等)

- ・本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入。
- ・所属学会名は正確に記入。

- ・平成32年4月以降における職務の状況について記入。
- ・教員以外の者の場合の職務の状況は、勤務先、職名の欄のみ記入し、「備考」欄に現在の職務内容を簡潔に記入。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 ○○○○○○○○○ ○○○○	単著	平成○○年○月	○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(280頁)
2 ○○○○○○○○○ ○○○○	共著	平成18年7月 (刊行予定)	○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(350頁) (担当部分) 第3章「○○○○○○」(P.100～ P.130) [共著者] 姫路太郎、神戸三郎、○○○○、○ ○○○、○○○○、他15名
3				
4				
5				
(学術論文) 1 ○○○○○○○○○ ○○○○	単著	昭和○年○○月	○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(300頁)
2 ○○○○○○○○○ ○○○○	共著	平成○○年○月	○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○(180頁) (担当部分) 第1章「○○○○○」(P.1～P.18) [共著者] ○○○○○、○○○○
3				
4				
5				
(その他) 1 ○○○○○○○○○ ○○○○	単著	平成○年○○月	○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
2				
3				
4				

著書、学術論文及びその他の順に区分してそれぞれ年月日順（過去→現在）に記入し、番号を付す。**（数が多い場合は過去5年程度のものを中心に、主要なものだけ記載し、各区分ごとの末に「その他○○報」等記述。但し、教員審査の判定材料となるので、担当授業科目に関連するものは必ず記載）**

一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著とする。

発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで明記。
学会誌等において書類提出時以降に発表予定のものは含めない。

- ・ 著書、学術論文等の概要及び総ページ数について、各著書、学術論文ごとに**200字程度**で明確かつ簡潔に記入。
- ・ 共著の場合、さらに加えて、本人の担当部分の概要及び掲載頁（例 P.○○～P.○○）を明記し、また、本人の氏名（下線を付すこと）を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順（例：編者△△、分担執筆○○、□□、…）に記入。
- ・ 共著の場合で、本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能等）

翻訳、学会発表、講演などは、(その他)に記載してください。